

広報おきたま病院

第26号
令和3年3月

各種
指定等

救命救急センター
第二種感染症指定医療機関
エイズ治療拠点病院

地域がん診療連携拠点病院
へき地医療拠点病院
地域医療支援病院

災害拠点病院
臨床研修指定病院



リハビリテーションの様子

目次

- p02 診療科紹介「形成外科」
- p03 診療科紹介「歯科口腔外科」
- p04 リハビリテーション療法士の1日に密着
- p05 お手軽レシピ -たんぱく質編-
- p06 耳鼻咽喉科診療内容紹介
- p08 公立置賜長井病院改築の進捗状況

病院理念

心かよう信頼と安心の病院

運営方針

- 1 患者本位の医療を展開いたします。
- 2 高度・救急医療を提供いたします。
- 3 健全経営の確保に努めます。
- 4 人材を育成いたします。
- 5 地域連携の推進に努めます。
- 6 快適な療養環境を提供いたします。





形成外科

● 診療部長（外科系三） 菊地 憲明
（兼）形成外科科長



形成外科が扱う範囲は頭から足先まで全身に及びます。露出部のできもの、皮下のできものご紹介が多くあります。細かく、丁寧に処置させていただき、目立ちにくい傷あとになるようにしています。できるだけ日帰り手術で対応しており、特にお子さんの場合は親御さんに付き添っていただきながら負担の少ない日帰り手術に対応しています。

外来は月曜、火曜、水曜、木曜の午前の診療となっています。火曜日は非常勤医師2名が隔週で担当しています。また金曜の午後は不定期ですが公立置賜南陽病院で外来を開いています。

また、乳がん手術後の乳房再建手術も行っており、ご自身の組織による手術、保険による人工材料を使った再建も当院で行えます。施設認定を受け、乳腺外科の東敬之先生と共に治療にあたっています。これまでに乳がんの手術を受けた方、今後、治療を受ける方でご不明な点があれば説明をさせていただきます。

当科の得意分野に顔面の外科があります。顔面外傷（挫創、骨折）や顔面神経麻痺^{がんけん}について機能と整容の両面から治療しています。また肩凝りや眼精疲労の原因となる年齢的な眼瞼下垂も日帰り治療に取り組んでいます。

昔は床ずれ、今は褥瘡^{じよくそう}と呼ばれる皮膚トラブルも、患者さんの生活背景や活動性を考えて治療にあたっており、車椅子生活の方の床ずれについても対応しています。また、足爪の炎症・巻き爪変形や糖尿病^{そくし}などの方の足・足趾のトラブルも治療しています。

その他にも、当院で出生されるお子さんの新生児検診を行っています。外表異常（母斑、血管腫、耳介、四肢・体幹の異常など）について検診し、早期からご家族に寄り添うように、説明や治療にあたり、ご家族の不安の軽減に努めています。

やけど、熱傷（小児、化学熱傷、電撃症）も治療しています。まずは、患部を水等で冷やしてから慌てず受診してください。

学会スローガンに「形成外科はキズ治療のプロです」があります。どうぞお悩みのある方はご相談ください。

外来診療体制

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
菊地 憲明	非常勤医師	菊地 憲明	菊地 憲明	-

DENTAL
DENTAL



歯科口腔外科

● 歯科口腔外科科長 小林 武仁

みなさん、こんにちは。歯科口腔外科をご存じですか？

当院の歯科口腔外科では、かかりつけ医では対応が難しい疾患に対してご紹介をいただいて診療を行っております。対象疾患は、主に口腔や顎に発生した疾患で、炎症や口腔がんなどの腫瘍、のう胞、粘膜疾患、顎変形症(顎に由来するかみ合わせの異常)、顎関節症、外傷、唾液腺疾患、親知らずなどの抜歯を担当しています。健康な方の歯科治療については地区歯科医師会との連携をとっておりますがケガ、出血、痛み、腫れなど急性症状の際は紹介状がなくても診察や処置が可能です。休日や時間外には救急当番歯科医師が24時間体制で対応します。その他、入院管理が必要な有病者や高齢者の方の抜歯などの外科処置も行っております。

当科では、院内各科のほか、山形大学医学部歯科口腔・形成外科と連携して治療を行っております。

外来診療体制

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
逸見 朋陽 小林 武仁 川口 太郎	笹原 庸由 小林 武仁 川口 太郎	逸見 朋陽 小林・飯野 (山大) 笹原 庸由	逸見 朋陽 小林 武仁 川口 太郎	笹原 庸由 小林 武仁 川口 太郎

歯科口腔外科科長

こばやし たけひと

小林 武仁



口腔内の様々な疾患に対して適切な検査を行い患者さんと相談しお互いが納得したうえで治療を行うように心がけています。困ったことがあったらぜひご相談にいらしてください。どうぞよろしくお願いたします。

医長

かわぐち たろう

川口 太郎



口腔機能の低下は生活の質の低下へと繋がります。口腔疾患の早期発見にはかかりつけ歯科医院での定期的な検診が大切です。地域の先生方のご協力を頂きながら、置賜地区の医療に貢献できるよう尽力して参りますので、よろしくお願致します。

歯科医師

へんみ ともはる

逸見 朋陽



歯科治療に恐怖心をお持ちの方もいらっしゃるかと思います。可能な限り不安感や痛みを軽減できるような診療を心がけています。これまでの経験を生かし、微力ながら地域医療に貢献出来るよう努めさせて頂きます。

歯科医師

ささはら のぶゆき

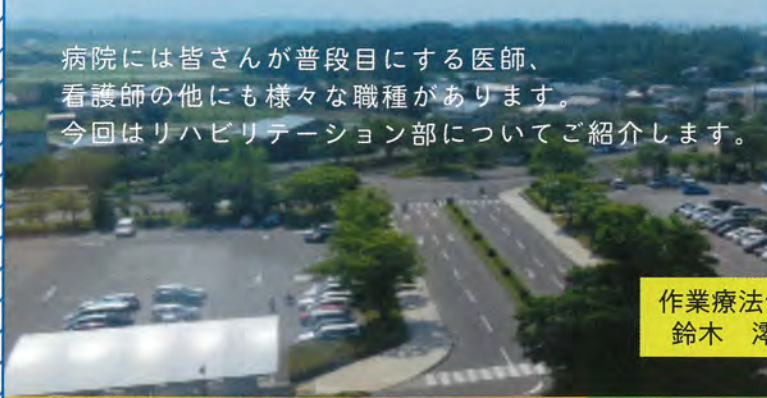
笹原 庸由



国民の口腔内に関する意識は年々増加しており、悩みは多岐にわたります。患者様の言葉にしっかりと耳を傾け、丁寧かつ納得の頂ける説明・治療を心がけて診療して参ります。お困りのことがあれば気軽にご相談ください。

リハビリテーション療法士の1日

病院には皆さんが普段目にする医師、看護師の他にも様々な職種があります。今回はリハビリテーション部についてご紹介します。



作業療法士
鈴木 滯

言語聴覚士
高橋佳奈

理学療法士
高橋 駆



おはようございます!

出勤

朝のミーティング



会議、業務報告や1日のスケジュールなどスタッフ全員で情報共有をします。



リハビリ



意思疎通をうまくとれなくなった方、うまく食べることができなくなった方々に対して、機能回復・維持を目的とし訓練・指導・助言・その他援助を行います。一日を通してリハビリ業務が主体となります。

栄養サポートチーム回診



医師、歯科医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、作業療法士、言語聴覚士などの多職種で栄養サポートチームの回診を行います。患者様にとって最善の食事方法を検討します。

食事評価・介助



安全に美味しく長い間大切な方と食事を共にできるよう、正確な評価を行い、必要に応じて食事介助を行います。回診がない日は患者様の食事が終わるまで評価を行うこともあります。

勤務終了



おつかれさまでした



当院には様々な認定をもったリハビリテーション療法士がいます。

- ・神経系認定理学療法士
- ・内部障害系認定理学療法士 呼吸
- ・内部障害系認定理学療法士 心臓
- ・3学会合同呼吸療法認定士
- ・心臓リハビリテーション指導士



リハビリ公園

朝
こ
そ

「たんぱく質」を取りましょう

“フレイル”という言葉を知っていますか?年齢を重ねるにつれて、筋力や精神力など心身の活力が低下することをいいます。フレイルの予防や改善のためには①偏らずに様々な食品を食べ、十分なエネルギー、たんぱく質を摂る②食べるために必要な、噛む・飲み込む力を保つことが大切です。筋肉や骨を作るために重要な栄養素が摂れる副菜を紹介します。「食」からフレイル予防を始めましょう。

Point!



筋力をつけるための
カギは

“たんぱく質を朝からとること”にあり

たんぱく質は夕食に偏って摂るよりも、朝・昼・夕均等に摂るほうが筋肉の合成を高めることがわかってきました。つまり、たんぱく質が不足しがちな朝食や昼食にしっかりたんぱく質を食べることが大切です!

簡単! 5分レシピ たんぱく質ちょい足し朝ごはん

たんぱく質は で表示しています。

コーンスープにツナと牛乳をちょい足し



たんぱく質
+11g

【栄養素】(1人分)
エネルギー……270kcal
たんぱく質……11.3g
脂質……16.2g
炭水化物……19.2g
塩分……1.4g

【材 料】(2人分)
コーンスープの素……2袋
白菜……1枚
ツナ缶……1缶
牛乳……300cc
こしょう……少々



【作り方】
① 白菜を千切りし、電子レンジで600Wで3分かける。
② 鍋にコーンスープの素、牛乳を入れ火にかける。
③ ②に①とツナを入れこしょうで味を整えて完成。

野菜に鯖味噌煮をちょい足し



たんぱく質
+11g

【栄養素】(1人分)
エネルギー……227kcal
たんぱく質……11.2g
脂質……17.5g
炭水化物……5.9g
塩分……1.1g

【材 料】(2人分)
ナス……2本
サラダ油……大さじ2
鯖味噌煮缶……1缶
ねぎ……少々



【作り方】
① ナスを適当な大きさに切る。ねぎを薄輪切りにする。
② ナスを油で炒める。
③ ナスがしんなりしたら鯖味噌煮缶を入れまぜる。
④ ねぎを散らして完成。



味噌汁に豆腐+卵



たんぱく質
+10g

サラダに大豆 (ミックスビーンズ)



たんぱく質
+4g

野菜炒めに 魚肉ソーセージ+卵



たんぱく質
+12g



耳鼻咽喉科 外来診療内容紹介

アレルギーに関する診療／担当：櫻井真一

毎週月曜日／午前8:30▶11:30

アレルギー性鼻炎は日本で最も多い病気です。日本人の半数がアレルギー性鼻炎にかかっており、最近は小児の鼻炎が増えています。今までこの病気は治らないと考えられており、治療は内服薬や点鼻薬により鼻汁やくしゃみといった症状を抑えるもので、薬を止めると再発しました。ところが近年、特に多くの方が悩んでいるスギ花粉、およびダニ（ハウスダスト）に対するアレルギーについては、治療が期待できる画期的な「経口減感作



療法」が開発されました。当科ではこの治療と手術などを組み合わせて治療を目指した専門治療をおこないます。そのほか、蓄膿症（副鼻腔炎）や鼻づまり、におい（嗅覚）障害などの鼻の病気や、食物アレルギー、アレルギーによる口内炎やむくみ（浮腫）といった他のアレルギーについても、アレルギー専門医が治療をおこないます。

声がれ・音声外来に関する診療／担当：荒木直人

第1, 3, 5水曜日／午前8:30▶11:30

かすれた声を専門的には嗄声（させい）といいます。今までは耳鼻咽喉科で検査して病気が無い場合、加齢や個性を理由にあきらめられていました。当科では東京の専門病院で研修した担当医が、新たに当院に導入されたストロボスコープと呼ばれる画像分析機器を用いて嗄声の原因をくわしく分析し、専門的なリハビリテーション



や手術を用いて若々しい声への回復を図ります。もちろん若い人のストレスによる嗄声や、声帯ポリープ、喉頭（こうとう）がん、喉頭麻痺（こうとうまひ）といった、嗄声の原因になる治療が必要な喉の病気についても専門的な検査と治療をおこないます。声がれの気になる方は、ぜひ相談ください。

耳鼻咽喉科では上記の病気のほか、難聴やめまい、のどの痛みや扁桃炎、首の腫れ、鼻の病気などの一般的な診察もおこなっておりますのでお気軽にご相談ください。月～金曜日の午前中（8:30～11:30）に受診いただけます。





耳鼻咽喉科では一般的な診療の他、
下記のような診療も行っています。

いびき・睡眠時無呼吸に関する診療／担当：千葉真人（山形大学耳鼻咽喉科）

第2、4水曜日／午前8:30▶11:00

いびきはこどもからお年寄りまで年齢を問わず、多くの方の悩みの種となっています。さらに、いびきがひどい方は睡眠中に呼吸が何回も止まる睡眠時無呼吸（すいみんじむこきゅう）症候群かもしれません。この症候群は子供においては成長障害や学習障害の原因となり、成人においては高血圧や心臓病、脳卒中やめまいの原因と



なります。当科では、内視鏡検査や自宅でできる睡眠検査機械を用いて、いびきの原因や睡眠時無呼吸症候群の有無を検査し、手術を含めた専門治療をおこないます。いびきは歴とした病気です。小児や若い方は手術で良くなりますし、年配で手術ができなくても有効な治療があります。いびきに悩んでおられる方は、ぜひご相談ください。

嚥下（えんげ）リハビリテーションに関する診療／担当：櫻井真一

毎週金曜日／午前8:30▶11:30

美味しく食べることは、人生の喜びです。ところが、年齢を重ねるごとに食べ物を飲み込む嚥下（えんげ）機能は誰でも徐々に弱まるため、お腹いっぱい食べられなくなってきます。さらに症状が進むと、栄養不足から全身がやせて筋肉が細くなる、サルコペニアと呼ばれる状態となり、ついには飲み込んだ食物が誤って肺に入る危険な誤嚥性（ごえんせい）肺炎を発症します。75歳以上の方、または脳卒中や肺炎になったことがある方、「むせやすい」、「やせてきた」、「咳やたんが出る」、「食事に時間がかかる」、と

いった症状のある方は、ご相談ください。嚥下障害は新型コロナや癌と同

じくらい恐ろしい病気ですが、早めに治療することで回復し、悪化を防ぐことが可能です。当科では、内視鏡検査で飲み込む力を調べて、外来や入院でその人に合ったリハビリテーションをおこないます。



公立置賜長井病院改築の進捗状況

旧一般病棟解体中の様子



防音・防塵対策のうえ
解体工事を進めています



厨房エネルギー棟



厨房内

建物基礎を70センチメートル嵩上げして浸水対策がとられています



公立置賜長井病院では、基幹病院である公立置賜総合病院の後方病床機能を果たしつつ、現在の場所で新病院の建設を進めています。旧精神病床を一般病床に改修した後、厨房・エネルギー棟の建設と外来診療を行う診療管理棟を改修しながら、医療提供体制を維持しています。

この3月に旧一般病棟（6階建て）の解体が完了し、4月から新病院の建設が始まります。令和4年5月のプレオープンを目指し、概ねスケジュールどおりに工事を進めています。

なお、新病院棟本体工事に先行して建設した厨房・エネルギー棟につきましては、令和2年11月に完成し、順調に稼働しています。

工事に際しては周辺地区を対象とした住民説明会にてご理解いただき、防音・防塵対策を十分に施し安全に配慮して進めておりますので、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

